令和5年(2023年)の全数把握対象疾患

届出された全数把握対象疾患について、感染症サーベイランスシステム(NESID)より情報を収集・解析した。また、新型コロナウイルス感染症については、「奈良県」新型コロナウイルス感染症」(奈良県防災統括室 https://www.pref.nara.jp/55168.htm)より情報を収集・解析した。

令和5年までの全数把握対象疾患(新型コロナウイルス感染症を除く)の届出状況は、表1のようになっている。なお、現時点(令和6年8月時点)での速報値であり、後日変更されることがある。

1. 一類感染症

届出はなかった。

2. 二類感染症

結核は 209 例の届出があり、2022 年の 167 例から増加した。男性 111 例 (10~19 歳 2 例、20~29 歳 6 例、30~39 歳 3 例、40~49 歳 5 例、50~59 歳 10 例、60~69 歳 11 例、70~79 歳 30 例、80~89 歳 33 例、90~99 歳 11 例)、女性 98 例 (0 歳 2 例、20~29 歳 10 例、30~39 歳 9 例、40~49 歳 4 例、50~59 歳 6 例、60~69 歳 5 例、70~79 歳 21 例、80~89 歳 31 例、90~99 歳 10 例)で、70 歳以上が全体の 65%を占めていた。類型は、患者 145 例、無症状病原体保有者 62 例、感染症死亡者の死体 2 例であった。患者の病型は、肺結核が 94 例、その他の結核 (結核性胸膜炎、結核性髄膜炎、リンパ節結核、粟粒結核等) が 41 例、肺結核及びその他の結核が 12 例であった(別添 1)。

3. 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症は30例の届出があり、2022年の27例から増加した。男性16例(0~9歳3例、10~19歳3例、20~29歳3例、30~39歳1例、40~49歳1例、50~59歳4例、70~79歳1例)、女性14例(0~9歳3例、30~39歳2例、40~49歳3例、50~59歳3例、60~69歳1例、80~89歳1例、90~99歳1例)であった。感染者の類型は、患者18例、無症状病原体保有者が12例で、溶血性尿毒症症候群(HUS)は0例であった。血清型・検出病原体は、O26が6例(VT1が6例)、O63が1例(VT2が1例)、O103が1例(VT1が1例)、O115が1例(VT1が1例)、O157が18例(VT1をVT2が4例、VT2が14例)、O186が1例(VT2が1例)、O型判別不能が2例(VT2が2例)であった。推定感染経路は、経口感染が14例、接触感染が6例、不明が10例であった。経口感染が推定されている事例には、レバーの生食といった生肉を喫食した記載のある事例が含まれていた。

4. 四類感染症

エムポックス1例、つつが虫病2例、デング熱2例、日本紅斑熱3例、レジオネラ症25例の届出があった。

エムポックスは5月に届出があり、水疱穿刺液から病原体遺伝子が検出された。40代の男性で、 発熱、発疹、リンパ節腫脹、咽頭痛を呈していた。推定感染経路は性的接触(同性間)であり、奈 良県におけるエムポックスの検出は本事例が1例目であった。

つつが虫病は、7月に1例、12月に1例の届出があった。1例は、50代女性で、山林でマダニ

に刺されたと推定され、発熱、髄膜炎を呈しており、推定感染地域は、県内とされている。もう1例は、80代男性で、ダニと推定される刺し口における痂皮から病原体遺伝子が検出された。発熱、発疹を呈しており、推定感染地域は県内とされている。

デング熱は、4月に1例、7月に1例の届出があった。1例は、10代女性で、2日以上続く発熱、 頭痛、全身の筋肉痛、骨関節痛、発疹、血小板減少、白血球減少を呈していた。もう 1 例は、30 代女性で、2日以上続く発熱、発疹、血小板減少、白血球減少、ショック症状を呈していた。2例と も、海外渡航中に蚊に刺されたことが感染経路と推定されている。

日本紅斑熱は、7月に2例、8月に1例の届出があった。1例は、80代女性で、ペア血清での 抗体陽転により届出がなされた。虫による刺し口が確認され、発疹、肝機能異常を呈しており、推 定感染地域は県内とされている。1例は、50代男性で、ダニと推定される刺し口周辺の皮膚組織 から病原体遺伝子が検出された。発熱、頭痛、発疹、肝機能異常、両下肢筋肉痛を呈しており、 推定感染地域は県外とされている。もう1例は、20代女性で、虫による刺し口における痂皮から病 原体遺伝子が検出された。発熱、頭痛、発疹、肝機能異常を呈しており、推定感染地域は県外と されている。

レジオネラ症は、25 例の届出があり、2022年の28 例から減少した。男性21 例 (30~39 歳 1 例、50~59 歳 1 例、60~69 歳 7 例、70~79 歳 5 例、80~89 歳 5 例、90~99 歳 2 例)、女性 4 例 (20~29 歳 1 例、70~79 歳 2 例、90~99 歳 1 例)であった。病型は、肺炎型23 例、ポンティアック熱型2 例であった。推定感染経路は水系感染が5 例、塵埃感染が3 例、不明が17 例であった。

5. 五類感染症

アメーバ赤痢 5 例、ウイルス性肝炎 (E型肝炎及び A型肝炎を除く)4 例、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 33 例、急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)4 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13 例、後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)5 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 10 例、侵襲性肺炎球菌感染症 35 例、水痘 (入院例に限る。)11 例、梅毒 94 例、播種性クリプトコックス症 1 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、百日咳 15 例の届出があった。

アメーバ赤痢は 5 例の届出があり、すべて男性($60\sim69$ 歳 4 例、 $70\sim79$ 歳 1 例)であった。病型は、腸管アメーバ症 4 例、腸管外アメーバ症 1 例であった。推定感染経路は経口感染 2 例、不明 3 例であり、推定感染地域は、県内 1 例、県外 1 例、不明 3 例であった。

ウイルス性肝炎 (E型肝炎及び A型肝炎を除く) は 4 例の届出があり、男性 2 例 (0~9 歳 1 例、50~59 歳 1 例)、女性 2 例 (20~29 歳 1 例、50~59 歳 1 例)であった。病型は、B型が 2 例、その他が 2 例であった。推定感染経路は性的接触 (異性間) であり、推定感染地域は、県内 1 例、県外 1 例、不明 2 例であった。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症は33例の届出があり、男性22例($40\sim49$ 歳1例、 $50\sim59歳2例、<math>60\sim69歳4例、<math>70\sim79歳7例、80\sim89歳6例、<math>90\sim99歳2例)、女性11例(70\sim79歳6例、<math>80\sim89歳2$ 例、 $90\sim99歳3$ 例)であった。年齢は60歳以上が多く、全体の約9割を占めた。病原体検出検体は、血液10例、腹水1例、喀痰5例、膿1例、尿13例、その他7

例であった(重複を含む)。分離された菌種は、Klebsiella aerogenes 12 株、Klebsiella pneumoniae 6 株、Enterobacter cloacae complex 4 株、Escherichia coli 4 株、Enterobacter cloacae 3 株、Klebsiella oxytoca 2 株、Morganella morganii 1 株、Serratia marcescens 1 株であった。推定感染経路は、以前からの保菌が 18 例、尿路カテーテル 4 例、人工呼吸器 1 例、その他医療器具関連 1 例、院内感染 2 例、手術部位(手術手技)2 例、その他 2 例、不明 3 例であった。

急性脳炎は 4 例の届出があり、男性 1 例 $(10\sim19$ 歳 1 例)、女性 3 例 $(0\sim9$ 歳 2 例、 $30\sim39$ 歳 1 例)であった。病型は、インフルエンザウイルスが 2 例、その他が 1 例、病原体不明が 1 例であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 13 例の届出があり、男性 7 例 $(70\sim79$ 歳 1 例、 $80\sim89$ 歳 4 例、 $90\sim99$ 歳 2 例)、女性 6 例 $(40\sim49$ 歳 1 例、 $50\sim59$ 歳 2 例、 $70\sim79$ 歳 2 例、 $80\sim89$ 歳 1 例)であった。血清群は A 群 2 例、B 群 5 例、G 群 6 例であり、推定感染経路は創傷感染 8 例、その他 2 例、不明 3 例であった。

後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む) は男性 5 例 (10 歳~19 歳 1 例、20~29 歳 1 例、30~39 歳 1 例、50~59 歳 1 例、60~69 歳 1 例)の届出があった。病型は、AIDS 4 例、無症候性キャリア 1 例であり、推定感染経路はすべて性的接触(同性間)であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症は 10 例の届出があり、男性 6 例 (0 歳~9 歳 1 例、40 歳~49 歳 1 例、80~89 歳 4 例)、女性 4 例 (30~39 歳 1 例、60~69 歳 1 例、80~89 歳 1 例、90~99 歳 1 例)であった。ワクチン接種歴は、接種歴なし 2 例、接種歴不明 8 例であった。

侵襲性肺炎球菌感染症は35例の届出があり、男性20例(30~39歳1例、40~49歳1例、60~69歳2例、70~79歳12例、80~89歳4例)、女性15例(0~9歳3例、40~49歳1例、60~69歳2例、70~79歳4例、80~89歳4例、90~99歳1例)であった。ワクチン接種歴は、接種歴あり3例、接種歴無し9例、接種歴不明23例であり、接種歴あり3例は、9歳以下でいずれも4回接種していた(別添2)。

水痘(入院例に限る)は 11 例の届出があり、男性 8 例 $(20\sim29$ 歳 1 例、 $30\sim39$ 歳 2 例、 $40\sim49$ 歳 1 例、 $60\sim69$ 歳 3 例、 $70\sim79$ 歳 1 例)、女性 3 例 $(20\sim29$ 歳 1 例、 $70\sim79$ 歳 2 例)であった。病型はすべて検査診断例であり、ワクチン接種歴は、接種歴無し 5 例、接種歴不明 6 例であった。推定感染経路は、接触感染 2 例、飛沫・飛沫核感染 1 例、不明 8 例であった。

梅毒は94例の届出があり、2022年の75例より増加した。男性69例(10~19歳1例、20~29歳15例、30~39歳16例、40~49歳15例、50~59歳15例、60~69歳4例、70~79歳1例、80~89歳2例)、女性25例(10~19歳3例、20~29歳13例、30~39歳3例、40~49歳1例、50~59歳1例、60~69歳1例、80~89歳3例)であった。患者の病型は、早期顕症梅毒70例(I期:男性30例、女性5例、II期:男性22例、女性13例)、晩期顕症梅毒2例(男性2例)、無症候(無症状病原体保有者)22例(男性15例、女性7例)であり、早期顕症梅毒のうち50代男性1例、無症候(無症状病原体保有者)のうち40代男性2例及び50代男性2例は、HIV感染症の合併があった。また、早期顕症梅毒のうち女性2例及び無症候のうち女性1例は、妊娠中であった。感染経路は性的接触が82例(同性間11例、異性間59例、不明12例)、不明12例であり、性的接触(同性間)は男性10例、女性1例であった。また、性風俗産業の従事歴(直近6か

月以内)があった事例は6例あり、性風俗産業の利用歴(直近6か月以内)があった事例は21例あった。推定感染地域は、奈良県が39例、奈良県以外(都道府県不明を含む)が33例、不明は22例であった(別添3)。

播種性クリプトコックス症は90代女性1例の届出があり、感染経路は不明であった。

破傷風は80代男性1例の届出があった。土手から転落して頭部を挫創したことによる創傷感染と推定され、受傷後に開口障害及び嚥下障害の症状が出現した。ワクチン接種歴はなかった。バンコマイシン耐性腸球菌感染症は80代女性1例の届出があった。病原体検出検体は尿で、菌種はEnterococcus faeciumであった。感染経路は不明であった。

百日咳は15例の届出があり、男性7例(0歳~9歳4例、20~29歳1例、30~39歳1例、70~79歳1例)、女性8例(0歳~9歳3例、10歳~19歳1例、30~39歳1例、40~49歳1例、50~59歳2例)であった。推定感染経路は、家庭内感染が5例、不明が10例であった。ワクチン接種歴は、接種歴あり7例(4回接種4例、3回接種3例)、接種歴なし1例、不明7例であった。

6. 新型インフルエンザ等

令和5年1月1日から令和5年5月7日までの本県における新型コロナウイルス感染症は48471例あった。この期間は第8波と呼ばれる、令和4年10月からの流行の波の後半にあたる。新規感染者報告数は、令和4年11月中旬の急増から高い水準で推移しており、令和5年1月上旬にピークを迎えた。その後、令和5年2月以降は低水準で推移し、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症は第5類感染症に引き下げられ、新規感染者報告数の全数把握は終了した。

本県において第8波では、BA.5系統が多く検出され、オミクロン系統の変異株による感染が継続していたと考えられる。令和5年3月には、BM.1.1.1系統とBJ.1系統の組み換え体であるXBB株の検出割合の増加が見られたが、令和5年5月時点では新規感染者報告数の急増は見られなかった。

夷1	全数把握对象疾患報告状況

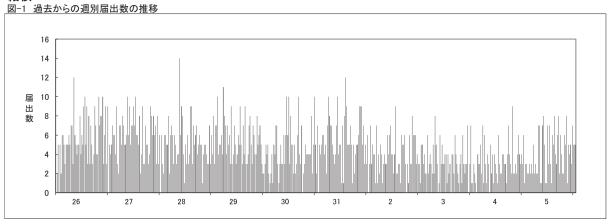
	把握対象疾患報告状況 調査年	平成24年(2012年)		平成25年(2013年)		平成26年(2014年)		平成27年(2015年)		平成28年(2016年)		平成29年(2017年)	
	疾患名	全国 奈良県		全国 奈良県		全国 奈良県		全国 奈良県		全国 奈良県		全国 奈良県	
	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱												
	ラウミア・コンコ 山血派 痘そう												
一類	南米出血熱ペスト												
	マールブルグ病												
	ラッサ熱												
	急性灰白髓炎 結核	29,317	424	27,052	343	26,629	300	24,523	305	24,669	266	23,427	285
	ジフテリア	20,017	121	27,002	0.10	20,020	000	21,020	000	21,000	200	20,127	200
二類	重症急性呼吸器症候群												
	中東呼吸器症候群 鳥インフルエンザ(H5N1)	**************	ALLES THE STREET	ALLEST LEGISLES	and the same of th	***************************************	***************************************						
	鳥インフルエンザ(H7N9)	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************								
	コレラ 細菌性赤痢	3 214	5	143	1	5 158		156	1	9 121	2	7 141	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3,768	17	4,044	30	4,151	23	3,573	27	3,647	23	3,904	21
	腸チフス パラチフス	36 24		65 50		53 16	2	37 32	1	52 20		37 14	
	E型肝炎	121		127		154		212		356		305	
	ウエストナイル熱	157		100		400	0	0.40		070		005	
	A型肝炎 エキノコックス症	157 17		128 20		433 28	8	243 25		272 27		285 30	- 1
	黄熱												
	オウム病オムスク出血熱	8		6		8		5		6	\vdash	13	
	回帰熱	1		1		1		4		7		8	
	キャサヌル森林病 Q熱	1		6		1					 		
	狂犬病												
	コクシジオイデス症 エムポックス	2		4		2		3		3	\vdash	4	
	ジカウイルス感染症	***************************************		***************************************		*****************			***************************************	12		5	
	重症熱性血小板減少症候群	***************************************	***************************************	48		61		60		60		90	
	腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎												
	ダニ媒介脳炎									1		2	
	炭疽 テクングニア熱	10		14	1	16	1	17		14	 	5	
	つつが虫病	436	1	344	'	320	'	422		505		447	1
四類	デング熱 東部ウマ脳炎	221	5	249	2	341	3	293	4	342	5	245	4
	東部・フィ脳炎 鳥インフルエンザ(H5N1を除く)												
	ニパウイルス感染症	474		475		0.44		0.15		077		207	
	日本紅斑熱 日本脳炎	171		175 9		241	1	215		277 11		337	
	ハンタウイルス肺症候群			Ŭ		_			·			Ů	
	Bウイルス病 鼻疽										 		
	ブルセラ症			2		10		5		2		2	
	ベネズエラウマ脳炎 ヘンドラウイルス感染症										\vdash		
	発しんチフス												
	ボツリヌス症	3		47		1		1		5		4	
	マラリア 野兎病	72	I	47	2	60	1	40		54		61	
	ライム病	12		20	1	17		9		8		19	
	リッサウイルス感染症 リフトバレー熱										\vdash		
	類鼻疽			4				1				1	
	レジオネラ症 レプトスピラ症	899 30		1,124 29	12	1,248 48	11	1,592		1,602 76		1,733 46	
	ロッキー山紅斑熱												
	アメーバ赤痢 ゥ B型	932 186		1,047 236	8	1,134 188	15 1	1,109 206		1,151 228	11	1,089 241	9
	1 C型	38	1	30		27	'	35		35		31	'
	ル D型 大 大 大 の他	12		20		11		14		17		22	
	炎 (再掲:合計)	236	1	286	2	226	1	255		280		295	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 急性弛緩性麻痺	ALIGNIA DE LA CONTRACTOR DE LA CONTRACTO		************		314	5	1,671	28	1,573	22	1,660	27
	急性脳炎	371		369		459	3	511	4	763	4	702	5
	クリプトスポリジウム症 クロイツフェルト・ヤコブ病	6 185		25 203	8	98 177		15 192		14 175		19 200	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	242	1	203	1	268	2	415	2	494	5	587	10
五類	後天性免疫不全症候群 ジアルジア症	1,438 72	11	1,586 82	8	1,538 68	14	1,431 81	14	1,443 71		1,395 60	7
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12	***************************************	108		200	2	252		312	6	372	3
	侵襲性髄膜炎菌感染症 侵襲性肺炎球菌感染症	***************************************		1,001	9	37 1,825	20	2,403		43 2,735		25 3,205	
	水痘(入院例)	***************************************	***************************************		9	1,825	5	313		318		3,205	5
	先天性風しん症候群 梅毒	4 875	6	32 1,228		1,661	16	2,690		4,575		5,826	
	 	8/5		1,228	6	37	16	120		137	36	137	29
	破傷風バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	118		128	2	126	1	120		129	3	125	
	リン・コンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			55		56		66	1	61	5	83	
		91				- 00							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳	91	***************************************	***************************************	******************	***************************************	***************************************	***************	***************************************	***************************************	ACCOUNTS ASSESSED.	ACCOUNTS AND THE PARTY OF THE P	*****************
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳 風しん	2,386	18	14,344	180	319	5	163	1	126	2	91	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳 風しん 麻しん 薬剤耐性アシネトバクター感染症	2,386	***************************************	14,344	***************************************	319 462 15	1	163 35 38		165 33		91 186 28	
新型インフ	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳 風しん 麻しん	2,386	***************************************	14,344	***************************************	462	1	35		165		186	

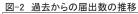
	把握対象疾患報告状況	平成30年(2018年) 平成31年・令			令和元年	令和]2年	令和	13年	令和4年		令和5年	
	調査年 疾患名	全国		(201 全国		(202 全国	0年) 奈良県	(202 全国		(202 全国	2年)	(202 全国	3年) 奈良県
	エボラ出血熱	至国	奈良県	至国	奈良県	至国	余艮県	至国	奈良県	至国	奈良県	至国	余 艮宗
	クリミア・コンゴ出血熱												
一類	痘そう 南米出血熱												
XX.	ペスト												
	マールブルグ病												
	ラッサ熱 急性灰白髄炎												
	結核	22,448	232	21,672	283	17.786	202	16,299	174	14,798	167	15,382	20
	ジフテリア	,		,		,		,				,	
二類	重症急性呼吸器症候群												
	中東呼吸器症候群 鳥インフルエンザ(H5N1)												
	鳥インフルエンザ(H7N9)												
	コレラ	4		5		1				1		2	
三類	細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症	268	1	140	00	87	50	7	40	16	0.7	47	
	勝官山血性人勝困忠宗症 腸チフス	3,854 35	26	3,744 37	23	3,094 21	52	3,243	46	3,370 16	27	3,813 39	
	パラチフス	23		21		7		·		10		9	
	E型肝炎	446		493	1	454	1	460		435	2	552	
	ウエストナイル熱 A型肝炎	926	7	425	3	120	1	71		69		56	
	エキノコックス症	19	,	28		24	'	35		28		13	
	黄熱												
	オウム病オムスク出血熱	6		13		7		9		12		8	
	オム人グ出血熱 回帰熱	6		7		15		10		25		23	
	キャサヌル森林病					13							
	Q熱 在土库	3		2				1				1	
	狂犬病 コクシジオイデス症	2		2		1 6				2		4	
	エムポックス					0				7		225	
	ジカウイルス感染症			3		1						2	
	重症熱性血小板減少症候群 腎症候性出血熱	77		101		78		110		118		134	
	西部ウマ脳炎												
	ダニ媒介脳炎	1											
	炭疽			40						_		_	
	チクングニア熱 つつが虫病	4 456		49 404	1	538		544		5 492	1	444	
m 华石	デング熱	201	2	461	4	45		8		98		176	
四類	東部ウマ脳炎												
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)												
	ニパウイルス感染症 日本紅斑熱	305		318	1	422	3	490	1	457	2	501	
	日本脳炎	000		9	·	5		3		5	_	6	
	ハンタウイルス肺症候群												
	Bウイルス病 鼻疽			2									
	ブルセラ症	3		2		2		1		1		2	
	ベネズエラウマ脳炎												
	ヘンドラウイルス感染症 発しんチフス												
	ボツリヌス症	2		3		4		5		1			
	マラリア	50		57	1	21		30		31		36	
	野兎病												
	ライム病 リッサウイルス感染症	13		17		27	1	23		14		28	
	リフトバレー熱												
	類鼻疽	2		2		1				2			
	レジオネラ症 レプトスピラ症	2,142	19	2,316 32	21	2,059	26	2,133	19	2,143 38	28	2,288 49	
	ロッキー山紅斑熱	32		32	'	17		34		38		49	
	アメーバ赤痢	843	9	853	11	611	6	537	7	533	14		
	ゥ B型 ィ c刑	214	1	257	2	186	7	148		136		152	
	ル D型	29		31		25		12		20		26	
		33		43	1	35		42	1	54		66	
	肝不明	1						1		1			
	炎 (再掲:合計) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	277 2,289	1 45	2,333	3 35	246 1,956	35	203	1 29	211 2,015	21	244 2,113	
	急性弛緩性麻痺	141	1	78	აე	34	33	2,000	29	2,015	21	2,113	
	急性脳炎	679	7	959	11	491	2	338	1	399	1	658	
	クリプトスポリジウム症	25		19		6		5		7	_	16	
	クロイツフェルト・ヤコブ病 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	221 694	2 16	193 894	4 10	157 718	3 9	179 622	6	172 708	7 16	170 949	1
	後天性免疫不全症候群	1,301	6		7	1,094	1	1,053	5	893	8		'
五類	ジアルジア症	68		53	2	28		32		32		39	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症	488 37	4	543 48	4	253 14	5	194 1	1	211 8	3	567 21	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3,328	28	3,344	23	1,655	17	1,405	18	1,347		1,988	3
	水痘(入院例)	466	5	492	9	362	8	301	5	327	7	407	1
	先天性風しん症候群	7.007	E0	6 6 4 2	71	1 F.067	41	7 070	-	10.001	75	1E 070	9
	梅毒 播種性クリプトコックス症	7,007 182	53 2	6,642 156	3	5,867 152	3	7,978 163	55 1	13,221 159	75 1	15,078 173	,
	破傷風	134	1	126	2	104	2	93	1	96	2		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症												
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 百日咳	12 115	7 56	16.945	4 37	136	9	124 707	3	133	9		
	風しん	12,115 2,941	10	16,845 2,298	15	2,819 101	1	12	- 1	491 15		1,015 12	
	麻しん	279		744	9	10		6		6		28	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	24		24		10		6		13		14	
	髄膜炎菌性髄膜炎	Merrican Laborator	- SERVER	MENTAL STREET	- ALLEN TO STATE OF THE STATE O	-TEATER TEAT	- ALLEN TO THE TAXABLE TO THE TAXABL		- ATTENDED	- ATTECHNOTER CONT.	APTERS.	ANTERNA PERSONAL PROPERTY OF THE PERSONAL PROP	
型インフ	新型コロナウイルス感染症		****	-1004	ages at	450.00	agener.	-92.64	-2244				

ゼロ値は表示していない

結核

(別添1)





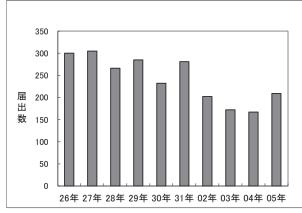


図-5 週別届出数

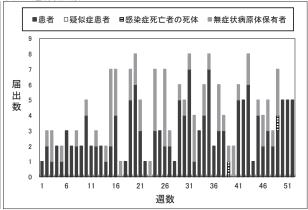


図-3 年齢別届出数

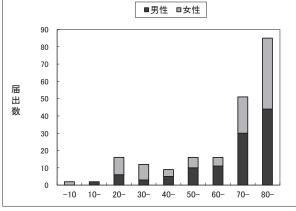


図-6 病型別

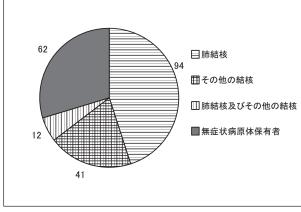
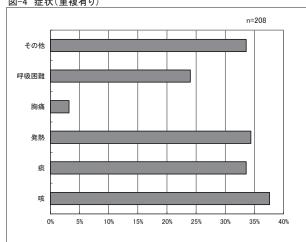


図-4 症状(重複有り)



その他

感染地域(推定含む) 県内:106例 県外:93例(都道府県不明を含む)

海外:10例

図 1 過去からの週別届出数の推移

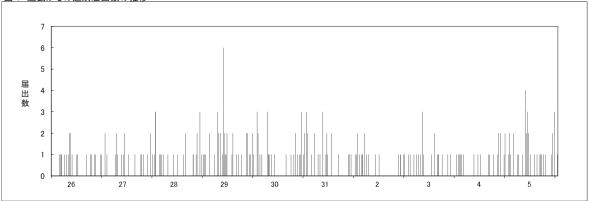


図2 過去からの届出数の推移

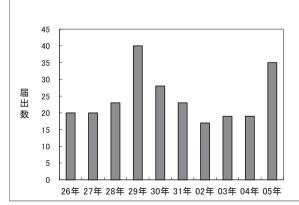


図 5 週別届出数

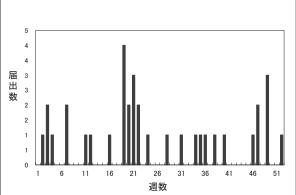


図3 年齢別届出数

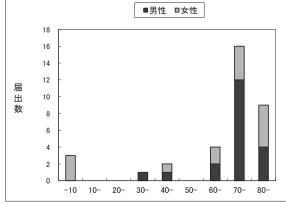
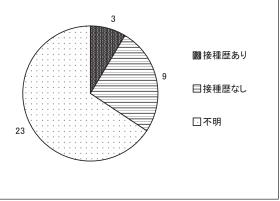
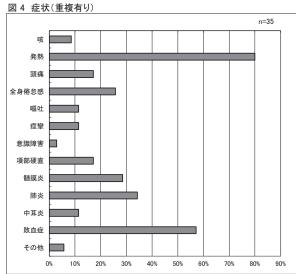
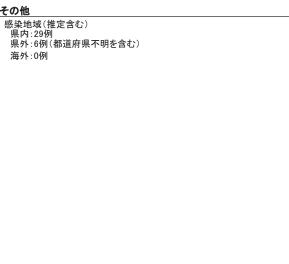


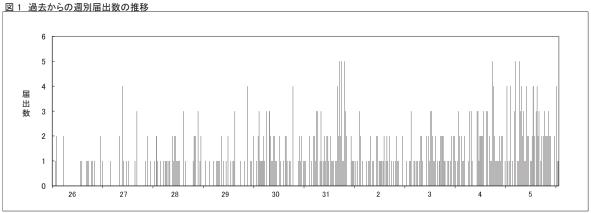
図 6 ワクチン接種歴

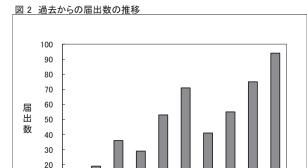






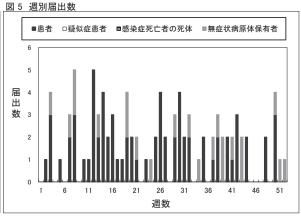
梅毒





26年 27年 28年 29年 30年 31年 02年 03年 04年 05年

10



男性

図 6 年齢群別の届出数の推移

⊠ 60-

(別添3)

